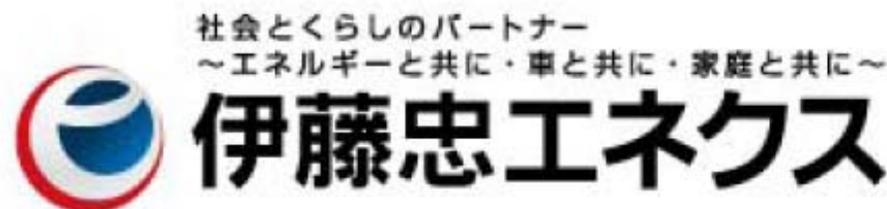


**Providing Energy Blessings to All**  
Energy supports our everybody life and society.  
To provide energy when and where its needed,  
Is our major responsibility.

# 2010年3月期 第2四半期決算説明資料



IR室 TEL : 03-6327-8009  
(E-MAIL: [enex\\_irpr@itcenex.com](mailto:enex_irpr@itcenex.com))

# 連結損益計算書

(単位:百万円)

	2009年3月期 第2Q累計期間実績	2010年3月期 第2Q累計期間実績	前年同期比
売上高	601,759	480,625	80%
営業利益	4,157	363	9%
経常利益	4,322	631	15%
当期純利益	2,581	832	32%

## POINT

【 売上高 】 トレード事業部門の増加はあったものの、売上単価の大幅な下落により減収

【 営業利益 】 景気低迷・国内外の物流低迷に伴う市況環境の悪化により減益

# 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2009年3月期末	2010年3月期 第2四半期末	増減額
流動資産	141,888	<b>128,827</b>	$\Delta$ 13,061
固定資産	105,698	<b>106,665</b>	967
流動負債	116,895	<b>111,817</b>	$\Delta$ 5,078
固定負債	39,804	<b>32,192</b>	$\Delta$ 7,612
純資産	90,886	<b>91,482</b>	596
総資産	247,587	<b>235,493</b>	$\Delta$ 12,094

## POINT

- 有利子負債削減(△116億円)促進及び余剰資金の圧縮
- JGE株式出資 31億円
- グループCMS導入

# 連結キャッシュフロー計算書

グループ中期経営計画

**Core&Synergy 2010**

～変革の実行を通じて新たなステージへ～

(単位:百万円)

	2009年3月期 第2Q累計期間実績	2010年3月期 第2Q累計期間実績	増減額
営業活動CF	5,870	△ 1,662	△ 7,532
投資活動CF	674	△ 1,798	△ 2,472
財務活動CF	△ 6,355	△ 12,763	△ 6,408
<hr/>			
	2009年3月末	2010年3月期 第2四半期末	増減額
現金同等物 期末残高	43,219	26,996	△ 16,223

## POINT

【営業活動CF】 棚卸資産増加△16億円、法人税等の支払△29億円

【投資活動CF】 有形固定資産取得△21億円、JGEに係る収支△0.5億円

【財務活動CF】 有利子負債の削減△116億円、配当金の支払△9億円

# 連結販売数量(主要6品目)

	2009年3月期 第2Q累計期間実績	2010年3月期 第2Q累計期間実績	前年同期比
ガソリン	1,838	2,085	113%
灯油	444	545	123%
軽油	1,305	1,528	117%
重油	851	1,997	235%
<b>燃料油【計】</b>	<b>4,438</b>	<b>6,155</b>	<b>139%</b>
アスファルト	124	117	94%
LPガス	472	312	66%
<b>【総計】</b>	<b>5,034</b>	<b>6,584</b>	<b>131%</b>

## POINT

- 燃料油はトレード事業の継承分が寄与。  
 (トレードを除く前年比は 96.6 %)

# セグメント別情報 産業マテリアル事業本部

※ 新組織体制での換算数値

(単位:百万円)

	2009年3月期 第2Q累計期間実績	2010年3月期 第2Q累計期間実績	前年同期比
売上高	79,366	41,753	53%
営業利益	1,527	700	46%

(単位:千kl)

軽油	104	114	110%
重油	574	482	84%
アスファルト	124	117	94%

## POINT

- 利幅を重視した販売を徹底
- 産業用需要の減少の中、新規獲得と既存先のシェアアップに注力

# セグメント別情報

## カーライフ事業本部

※ 新組織体制での換算数値

(単位:百万円)

	2009年3月期 第2Q累計期間実績	2010年3月期 第2Q累計期間実績	前年同期比
売上高	321,272	232,820	72%
営業利益	2,460	465	19%

(単位:千kl)

ガソリン	1,302	1,324	102%
灯油	168	157	94%
軽油	1,007	966	96%
重油	132	101	77%

### POINT

SS数は減少するものの全国平均を上回る販売数量

<2010年9月末時点の各実績>

- CS数 : 2,164CS (2009年3月末より△10CS ⇒ 増加+45、減少△55)
- イツモレンタカー : 152カ所
- カーコレクション : 452カ所 (2009年3月末より+7ヶ所)
- itsumoカード : 482千枚
- CSギヤ : 191カ所 (2009年3月末より+33カ所)

# セグメント別情報

## トレード事業本部

(単位:百万円)

	2010年3月期 第2Q累計期間実績
売上高	170,194
営業利益	△ 373

(単位:千kl)

	2010年3月期 第2Q累計期間実績
ガソリン	752
灯油	319
軽油	445
重油	1,409

### POINT

世界的景気低迷による石油製品需要とタンカー需要が減少

- 石油製品トレード事業 : 国内取引は計画通り推移、輸出入取引の減少により収益減
- 船舶燃料油事業 : 経済状況の悪化による荷動きの鈍化  
競争入札等による価格競争激化により収益減
- タンカー運航事業 : 世界的な物流の減退によるタンカー市況低迷  
自社保有船のコストを下回る運賃市況が影響し、大幅に収益減

# セグメント別情報 ホームライフ事業本部

(単位:百万円)

	2009年3月期 第2Q累計期間実績	2010年3月期 第2Q累計期間実績	前年同期比
売上高	65,269	35,857	55%
営業利益	501	741	148%

(単位:千t)

LPガス	434	279	64%
------	-----	-----	-----

## POINT

- 売上高はJGE移管により大幅減少
- 原料費調整制度により適正なLPG利幅の確保、  
経費統制によるコスト削減
- 直売軒数 321千軒 (2009年3月末より+2千軒)
- LPG販売数量 前年比95%(JGE移管分除く)

⇒ 省エネ志向と消費の冷え込みによる

# セグメント別営業利益の見通し

※ 前年実績は新組織体制での換算数値

(単位:百万円)

	2010年3月期 上期実績	2010年3月期 下期見通し	2010年3月期 通期見通し	(参考) 前年下期実績	(参考) 前年通期実績
産業マテリアル	700	1,100	1,800	1,791	3,318
カーライフ	465	3,735	4,200	2,960	5,420
トレード	△ 373	573	200	1,096	2,065
ホームライフ	741	2,759	3,500	1,487	1,988
消去	△ 1,170	△ 1,130	△ 2,300	△ 1,609	△ 2,910
<b>【計】</b>	<b>363</b>	<b>7,037</b>	<b>7,400</b>	<b>5,723</b>	<b>9,881</b>

# 環境認識

		予算策定時 前提条件	2009年 3月末時点	2009年 9月末時点	差異
DUBAI原油	\$/bbl	48.00	46.70 (3/30時点)	64.86 (9/30時点)	18.16
通関CIF原油	円/KL	29,000	26,898 (3月平均)	42,708 (9月平均)	15,810
CP(プロパン)	\$/ト ン	400	470 (3月分)	565 (9月分)	95
WS (ワールドスケール)	—	160	101 (3月平均)	92 (9月平均)	△9
為替	円/\$	95.00	99.23 (3/30時点)	91.21 (9/30時点)	△8.02
エネクス株価	円/株	—	518 (3/30時点)	523 (9/30時点)	5
エネクスPBR	—	—	0.68 (3/30時点)	0.68 (9/30時点)	0.00

- 国内石油製品販売量前年比(4-9月累計)は92.8%(エネ庁想定差△2.2%)と石油製品需要の減退が継続。
- 石油元売各社が減産するも、国内の供給余剰感が消えず、原油価格と末端製品価格との格差が縮小し、業界全体での収益構造が低下。

# 中期経営計画 「Core&Synergy2010」概要



コア事業の強化とシナジーの創出のためにスタートした中期経営計画

期 間	2008年度～2010年度(3ヵ年)
位置づけ	新たな経営資源、機能、ビジネスモデルの獲得によって、グループの事業基盤の再構築を行い、成長路線を確立する期間とする
呼 称	Core & Synergy 2010 ～変革の実行を通じて新たなステージへ～
基本方針	グループ力の結集によって、垂直水平方向のグローバル展開を図りCoreの強化及びSynergyの創出を行い、収益倍増を実現する。

# 2009年度取組事項

社会・顧客満足

## 成長・拡大戦略

- ・元売再編の中で、戦略取組の実現
- ・販売店ネットワーク強化による販売力拡大
- ・販売店機能の多角化推進
- ・新経営資源のコア化及びシナジーの実現  
→トレード・フリート・LPガス元売事業
- ・物流から販売までのグローバル機能の発揮

## 経営理念の実行・将来への布石

「社会とくらしのパートナー」  
～社会インフラとしてのエネルギーから人を  
育み、くらしと心を豊かにするエネルギーまで～

- ・総合エネルギー提案企業への展開
- ・新エネルギービジネスの構築
- ・地域社会密着型ネットワークの構築

量的拡大

グループ中期経営計画

Core&Synergy 2010

～変革の実行を通じて新たなステージへ～

## 効率向上・コスト削減戦略

- ・経費率の改善
- ・総資産の圧縮(レシオの改善)
- ・業務の合理性・効率性の追求
- ・ロジスティックス機能の強化  
→グループ内  
→業界内

## 合理的経営戦略の推進

～コーポレートガバナンスの強化～

- ・自己責任型経営
- ・説明責任を果たす経営
- ・CSR・コンプライアンス経営
- ・グループ経営の推進
- ・人材開発・育成

質的改善

株主・従業員満足

# 2009年度取組事項

## イツモレンタカー進捗状況

- 販売店機能の多角化推進
- 地域社会密着型ネットワークの構築

### □イツモレンタカーのコンセプト

- ✓ 地域生活者に対する利便性の提供
- ✓ 地域社会への新たな交通手段の提供
- ✓ 新たな収益の創造による店舗力アップ
- ✓ カーライフ領域を超え、  
ホームライフ領域へのシナジー効果



### □目標と達成度

- ✓ 初年度目標 = 150店舗 ⇒ 5年度目標 500店舗
- ✓ 10月末現在 契約178店舗、稼働済み127店舗
- ✓ 車両台数 575台 / 店舗平均4.5台

# 2009年度取組事項

- 販売店機能の多角化推進
- 新エネルギービジネスの構築
- 地域社会密着型ネットワークの構築

## 低炭素社会実現に向けたエネクスグループの貢献

分散型発電(太陽光発電・燃料電池)・EV関連事業に対峙



地域生活者の顧客視点を持つグループ全販売店と共に、  
地域毎のエネクス、そして元売の三者が有機的連携を図り、  
スピードを上げて事業化できる体制の構築を行なう。



- ① 社長直轄によるスピードアップ
- ② 部門横断による地域の水平展開連携
- ③ 機動部隊編成による事業化強力推進

**“FCソーラー・EV事業推進部の新設”(H21年9月1日)**

# 2009年度取組事項

## □販売取組状況(10月末時点)

部門	CL・IM	HL	合計	
見込件数	23	—	23	
見積件数	11	109	120	
	金額(百万円)	11	355	366
成約	件数	6	94	100
	PV台数	6	92	98
	FC台数	1	7	8
	(W発電件数)	(1)	(5)	(6)
	KW数	28	363	391
	金額(百万円)	18	237	255

※ 4~8月のPV販売実績:38台を含む

## □今後の展開

### (PV・FC)

- ✓FCソーラー販売事業の構築＝Core事業の拡充
  - ① B to B to C事業展開
  - ② 販売体制の強化(内製化)
- ✓グループカによる生活者視点のエリア事業展開の基盤づくり＝Synergyの創出

### (EV)

- ✓国のEV・pHVタウン構想エントリー地域(都府県)の動向調査及び参画を模索
  - ① 候補地域の構想調査
  - ② エネクスグループとの連携可能地域においては、エネクスの参画を模索

# 低炭素社会実現に向けた取組

## □LNG・天然ガス販売事業

- ✓産業用顧客の低炭素社会への取組の一つである工場用燃料転換ニーズに対応すべく、エネルギーソリューション部を'05年度に新設。

### 【取組状況と今後の目標】

	(現状)		(5年後目標)
➤ 数量(LNG換算)	36千トン／年	➡	150千トン／年
➤ 売上高	25億円／年		100億円／年
➤ 供給数	5ヵ所		10ヵ所

## □電気事業への取組検討

- ✓上記のLNG・天然ガス販売事業と並行し、地域特化型のオンサイト電熱事業の取組検討中。
- ✓太陽光・風力・バイオマス由来の電源との組み合わせによるCO2管理支援サービス等も視野に入れた展開検討中。
- ✓電気事業への足掛かりとして、電力卸売事業に着手（今年度中）

# 経営管理指標の推移

グループ中期経営計画



～変革の実行を通じて新たなステージへ～

※ ( )は中期経営計画数値

(単位: 億円)

	2008年3月	2009年3月	増減額	2010年3月 (見込)	増減額
固定資産	964	1,057	93	1,050	△ 7
有利子負債	372	412	40	270	△ 142
総資産	2,551	2,476	△ 75	(3,234) 2,370	△ 106
純資産	837	908	71	940	32

2011年3月 中期経営計画
1,050
450
3,300
990

(単位: %、円)

主な指標	2008年3月	2009年3月	前期比	2010年3月 (見込)	前期比
自己資本比率	32.1%	35.9%	3.8%	(29.0%) 38.7%	2.8%
有利子負債比率 (有利子負債／総資産)	14.6%	16.7%	2.1%	(13.9%) 11.4%	△5.3%
総経費率	88.3%	86.7%	△1.6%	(84.7%) 88.9%	2.2%
ROE (自己資本利益率)	5.1%	6.4%	1.2%	(7.5%) 4.8%	△1.6%
ROA (総資産経常利益率)	3.4%	4.1%	0.7%	(4.3%) 3.1%	△1.0%
EPS (一株当たり当期純利益)	45.65円	52.44円	6.79円	(60.0円) 37.24円	△15.20円
BPS (一株当たり純資産額)	891.59円	759.66円	△131.93円	(803.0円) 804.46円	44.80円

2011年3月 中期経営計画
30.0%
13.7%
83.0%
8.0%
4.8%
68.0円
846.0円

## (1)ご注意

●資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

●また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

## (2)問い合わせ先

**伊藤忠エネクス株式会社 IR室**

【TEL】03-6327-8009      【FAX】03-5418-2203

【E-MAIL】enex\_irpr@itcenex.com